

科目区分	専門分野	科目名	母性看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15時間)	学 期	第2学期
担当講師	渡部 寛子			実務経験	有
科目目標	1. 母性の概念や特性、社会の動向や課題を踏まえ、母性看護の目的や役割を理解する。 2. 母性のライフサイクルにおける特徴や起こりやすい健康障害及び看護の方法を理解する。				
授業計画	第1回 母性看護の基盤となる概念 (講義) 1. 母性とは 2. 母子関係と家族発達 3. 母性看護実践を支える概念(ヘルスプロモーション・ウェルネス・セルフケア) 第2回 リプロダクティブヘルスに関する概念 (講義) 1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 2. セクシュアリティとジェンダー 3. 性意識の発達と性同一性障害 第3回 母子保健をめぐる動向と制度 (講義) 1. 母子保健統計 2. 子どもと女性の保護に関する法律(児童福祉法・母子保健法・母体保護法) 3. 女性の就労に関する法律(労働基準法・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律、育児休業、介護休暇等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律) 4. 子育て支援に関する制度・施策 5. 暴力・虐待の防止に関する法律と支援 6. 周産期医療システム 第4回 リプロダクティブヘルスに関する課題と倫理 (講義) 1. 人工妊娠中絶 2. 出生前診断 3. 生殖補助医療 第5回 生殖に関する生理 (講義) 1. 第二性徴(身体的変化と思春期における心理的变化) 2. 性周期と月経異常の看護 第6回 生殖における健康問題と看護 (講義) 1. 性感染症と関連したセルフケア 2. 不妊症と不妊治療を受けているカップルへの支援 第7回 加齢によるホルモンの変化 (講義) 1. 更年期女性の特徴と健康問題 2. 老年期女性の特徴と健康問題 第8回 終了試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 母性看護学1 医学書院 系統看護学講座 母性看護学2 医学書院 厚生指針 国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会				
講師からのメッセージ	「形態と機能Ⅳ(生殖器)女性生殖器の構造と機能」、小児看護学概論「小児各期の発達課題」を、「疾病治療論Ⅳ(生殖器)加齢による生殖機能や性ホルモンの変化」を学習しておくこと。国家試験出題基準を確認し学習すること。				